



2019~2020年度

第8回 全国インターアクト研究会

心つないで、次世代に
(つながりを大切に)



ロータリーは
世界をつなぐ



2019-2020年度

国際ロータリー第2800地区 カバナー 大久保章宏

〒994-0027 山形県天童市桜町2-20

TEL:023-687-0208 FAX:023-687-0209 E-mail:office@rid2800.org

<http://www.rid2800.jp/>

第8回全国インターアクト研究会 プログラム (案)

テーマ：心つないで、次世代に (つながりを大切に)

日時：2020年4月25日(土)

会場：研究会 山形テルサ／懇親会 ホテルキャッスル

2020年4月25日(土) 研究会：山形テルサ			
12:00	登録受付		インターアクト
開会式			
13:00	開会点鐘 国歌・奉仕の理想・ インターアクトソング斉唱 開会の挨拶 歓迎の挨拶 主催者挨拶 来賓・出席者紹介 分科会主旨説明	司会 ソングリーダー	インターアクト ロータリアン インターアクト インターアクト小委員長 高橋章 ガバナー 大久保章宏 全国インターアクト研究会 委員長 石黒慶一 青少年奉仕委員長 遠藤伸一
「ロータリーの木」植樹式典 (山形西公園)			
13:30		- 移動 -	
13:50	植樹 式典 山形市長挨拶 記念撮影	司会	インターアクター 山形市長 佐藤孝弘 氏
14:30		- 移動 -	
報告			
13:30	委員長報告	司会	青少年奉仕委員長 遠藤伸一 D2530青少年奉仕委員長 大木和彦
14:30		- 休憩 -	
分科会1		資料1	
14:45	全国委員長会議 パネルディスカッション	ファシリテーター パネリスト	インターアクト小委員長 高橋章 第1地域 船山百栄 (米沢RC) 第2地域 鈴木祥太 (東京ワセダRC) 第3地域 永野祥司 (岸和田RC)
分科会2		資料2	
14:45	全国顧問教師会議	講師	九里学園高等学校 理事長／学園長 九里廣志
分科会3		資料3	
15:00	全国インターアクト会議 「2020山形提言～自分たちができること～」 グレッタ・トゥーンベリさんのスピーチ	司会	インターアクト
2020年4月25日(土) 研究会：山形テルサ			
16:00		- 休憩 -	
分科会報告			
16:15	全国委員長会議報告 全国顧問教師会議 全国インターアクト会議報告 「2020山形提言」発表		インターアクト小委員長 高橋章 インターアクト
閉会式			
16:45	総評 次期ホスト地区紹介・挨拶		全国インターアクト研究会 委員長 石黒慶一 D2590
17:00	閉会 閉会点鐘 諸事連絡		インターアクト
17:00		- 移動 -	
2020年4月25日(土) 懇親会：ホテルキャッスル			
18:00	開会 開会の挨拶 御礼の挨拶 乾杯 アトラクション 閉会の挨拶 閉会	司会	インターアクト小委員長 高橋章 ガバナー 大久保章宏 D2530 ガバナー 芳賀裕

全国インターアクト研究会委員長挨拶



全国インターアクト研究会委員長

国際ロータリー元理事

国際ロータリー第2800地区

P.G. 石黒 慶一

この度全国インターアクト研究会がRI2800地区（山形県）で開催されるにあたり委員長としてご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルスの蔓延により残念ながら開催困難となりましたことは誠に残念に思います。大久保ガバナーのご尽力で記録誌の作成という形になりましたが、継続性という意味からも意義あることと考えます。

青少年育成はロータリー活動において重要なことは申すまでもありません。最初のインターアクトクラブは、1962-’63年に米国フロリダ州メルボルンに発足しました。その具体的目標は、指導力養成、自己完成、他人への思いやり、家庭と家族の重要性、

他人の権利尊重、責任強調、職業の品位と価値の認識、そして社会・国家・国際間の知識と理解等の推進であります。

この記録誌が単なる記録書類で終わることなく、その裏に隠された思いを持ち帰り自分のインターアクトクラブの発展への糧となることを心より祈念いたします。

ロータリアンの皆様には、インターアクト並びにローターアクトを通じて青少年の健全な育成を行う義務があることをこの研究会を期に考えてみる必要があります。

青少年は未来の宝であります。



国際ロータリー第2800地区
ガバナー 大久保章宏

この度、第8回全国インターアクト研究会が国際ロータリー第2800地区で開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止により、中止せざるを得ない状況になりました。極めて残念なことであり、全国インターアクト関係者、インターアクトクラブの皆様方には、山形へお越しいただくチャンスが無くなってしまいました。大変申し訳なく思っております。

ロータリーの青少年奉仕部門を構成する4つのプログラム（インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換）の中で、一番若い青少年とロータリーの接点がインターアクトクラブです。世界中には約159カ国に約20,000のクラブがあり、約47万人の会員が参加しています。ロータリークラブによる支援の下に、友達と一緒に楽しみながらロータリーの「超私の奉仕」を学び、行動力を身につけるプログラムです。2012年、第2680地区がホストクラブとして第1回全国インターアクト研究会が神戸で開催されました。第3回までは神戸で開催され、第4回以降は各地区での持ち回りとなりました。今回は第2800地区がホスト地区として、「心をつないで、次世代に」のテーマで開催する運びとなりました。インターアクターの分科会では、地球温暖化を考え、環境問題をテーマに、活発なる意見交換をおこなっていただき、環境問題に対するインターアクトの提言発表を目指します。若いインターアクターの国際

理解や社会奉仕活動に対する真摯な取り組みは、地域社会に大きな影響を与え、環境に対しても今後の指針となる事と思います。インターアクターの活動は、ロータリークラブに新しい風を吹き込むチャンスです。

当地区では昨年1校増え、8つの高等学校にインターアクトクラブが設立されています。山形県1県で構成されています。人口は約108万人、面積は9,323 km²です。自然豊かで山々に囲まれ、全ての市町村に温泉があります。有名な果物「さくらんぼ」「ラフランス」などの産地でもあります。開催地山形市は、蔵王温泉を有し、世界的にも有名な蔵王スキー場があります。近くには松尾芭蕉で有名な山寺があります。修験の山、信仰の山として人々を集めてきた出羽三山（月山、湯殿山、羽黒山）が聳えています。

今回はインターアクト研究会を開催出来ませんでしたが、全国より一年間のインターアクトクラブの活動報告を頂きました。合わせて当地区のインターアクトクラブの活動報告をまとめました。当初予定しました研究会の内容、並びに講演いただく予定でした資料を第8回全国インターアクト研究会の記録誌として発刊します。

全国インターアクト関係者、並びにインターアクトクラブが、益々活躍されます事心より祈念申し上げます。ありがとうございました。



国際ロータリー第2800地区
青少年奉仕委員会
委員長 遠藤 伸一

拝啓 皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素はインターアクト活動に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2020年4月25日(土)に開催を予定しておりました「第8回 全国インターアクト研究会」につきまして、この度の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、危機管理の観点から皆様の安全を鑑み、開催を「中止」とさせていただきます。

当地区初の全国規模の大会、大変楽しみにしておりました。近県RI2530(福島)地区からの心強い応援、支援も頂いて、皆さまをお迎えするばかりになっておりましたので尚更残念でございます。全国から見れば、当地区のIACの活動へのロータリアンの理解・関心は低いほうであり、まだまだ発展途上の地区ではないでしょうか。

そういう意味でも、全国IAC研究会山形大会を良い機会、きっかけにし、多くの地区内ロータリアンに参加していただき、趣旨や意義を理解していただき、直に高校生的心声を聴いてもらい、今後の活動に

必ずや生きてくる大会でした。現状、通常のロータリー例会ですら自粛している状態であり、先行きが見えない状況ではございますが、ガバナー始め、地区役員、委員会は決して全てを諦めることなく、「出来るか。出来ないか。」ではなく、どうすれば出来るのか、こんな時だからこそ自分から積極的に前向きに考え、行動しなければならないのでしょうか。

そして、この大会を通して関わることであったであろう全国のロータリアン・インターアクターの皆様とお会いできないのが本当に残念ではございますが、また山形で開催出来る機会がございましたら、自然豊かな、人情のある山形でお会い出来る事を楽しみにしています。

最後になりますが、これまで準備にご協力いただいた地区内の皆様、福島地区ガバナー始め委員会の皆様、IAC顧問教師の皆様、大変ありがとうございました。



国際ロータリー第2800地区
インターアクト小委員会
委員長 高橋 章

親愛なるロータリアンの皆様、インターアクトクラブの皆様、顧問教師の皆様、またそれを取り巻く大勢の皆様、まずは日ごろのご活動に感謝申し上げます。2020年、新型コロナウイルスは私たちの生活習慣もリズムも、大きく変えてしまいました。その抗うことができない環境下において、学校生活が大きく乱され、それに伴い貴重なインターアクトの活動が中止される事態となったことは、大変残念だと言わざるを得ません。本来であれば、5月に山形の地を皆様に踏んで頂き、2800地区のインターアクトと交流し、ロータリアンの皆様には、インターアクト、ロータリーを経験しロータリアンになった人の貴重な意見を聞き、今後の活動に役立てて頂く場を考えておりましたが、重ね重ね残念でなりません。

さて、ロータリーとインターアクトのつながりは、彼らの人間形成に大きな影響を与えることができると私は考えます。それは、すぐに成果として見えるものではありませんが、彼らが成長し社会人に、企業での重要な責務を任される立場になった時、そして経営者になった時、インターアクト時代に我々ロータリアンと接した経験が大きな意味を持つことになると思います。彼らから見たら、私たちはヒマな社長たちと映るかもしれません。しかし、彼らが成長した時に、なぜ多忙な生活の中から時間を捻出して、高校生らに奉仕したのか？私たちロータリアンはどんな期待を込めて自分たちと接してくれたのか？を考える時が来ると信じています。そうなれる人材は一握りかもしれませんが、私たちはそれを信じて種を撒き続けることが大切だと私は考えます。日本中のロータリアンがインターアクトに目を

向け、彼らの成長を見守ると同時に、自分たちの奉仕活動や、ロータリーの考え方に触れる機会を彼らに与えることが、10年先、20年先のロータリーを作ることに繋がると信じています。各地区のインターアクトクラブの活動は、素晴らしいものばかりです。彼らの活動の場を用意できる一端を担うことができたことを私たちは誇りに感じて欲しいと思います。私たちにとっては、当たり前で何気ない言動が、彼らに与える影響は大きいことを今一度、考えて下さい。彼らの多くが接することができる大人は、家族と親戚、そして学校関係者、友人の両親などです。社会に出れば職場の人間関係も加わりますが、現時点で彼らが接する大人はロータリアンのような、奉仕の理想を実践する人間ばかりではないと言うことです。いいえ、むしろ奉仕を考える大人との接触は少ないと考えても間違いではないのかもしれませんが、そんな環境下において、奉仕活動を目的としたインターアクトクラブのメンバーは、その奉仕の理想を追求するロータリアンとの接触で、刺激を受けないわけがありません。我々の一挙一動が、彼らのインスピレーションであることを、私たちはもっと理解して欲しいと個人的に感じています。それは、ロータリアンの皆様に、行動を改めて欲しいと言う話ではありません。もっと積極的にインターアクトと接して欲しいということです。着飾ることなく、等身大の皆様、そのもので接して頂ければ良いのです。ロータリアンの皆様は、彼らにとっては一つの目標であり、自分の親や親せきのおじさん、おばさんとは、一味も二味も違う、一線を画した存在であるからに他なりません。学校の先生とも違う存在です。

先生や親に言われたことと、一般人に言われたことでは同じ言葉でも彼らの受け取り方は全く違います。親しい人から言われるよりも、何倍も素直に聞くことができるようです。こちらが話かけても、彼らは上手く返せないかもしれません。会話があまり弾まないかもしれません。それでも、ロータリアンが彼らに語りかけることが大切だと思います。私たちの言葉は、インターアクターの中で、どれほどの響きを与えたかを推し量ることはできません。しかし、彼らが成長し、その立場になった時に必ず良いアドバイスとなることを私は信じています。

尊敬するある先輩ロータリアンは「ロータリーは人づくりの場である。」とおっしゃっていました。

「ロータリーとは、奉仕の心と実践力が伴った立派な専門職務者と職業人を育てる世界に広が修練の場です。」とおっしゃっています。これは現役のロータリアンに向けたメッセージであろうと思います

が、我々ロータリアンがインターアクターに向けても、同じことが言えると思います。将来、立派な専門職務者や職業人に育つ彼らに、奉仕の心と実践の種を撒いておくことがインターアクトとロータリアンの接点に他ならないと思います。

最後になりますが、たぶんインターアクトクラブは、人生で最初にロータリーに触れる場になると思います。ファーストコンタクトが悪ければ、誰もロータリアンになりたいと思わないでしょう。ですから、インターアクトと接する時には、ロータリアンの矜持を頭に置いて接して下さい。我々は彼らと接することで、我々も成長します。インターアクトはロータリーの素晴らしいプログラムの一つだと自信を持って下さい。インターアクトは未来のリーダーを作る優れたプログラムの一つです。今後もより一層、皆様のご協力を頂けますよう、お願い申し上げます。

第8回 全国インターアクト研究会 委員長会議／質問事項（資料1）

インターアクト、ローターアクトを経験しロータリアンになられた3名の方にパネリストとして質問事項にご回答いただきました。

パネリスト

第一地域 船山百栄（米沢RC）
第二地域 鈴木祥太（東京ワセダRC）
第三地域 永野祥司（岸和田RC）

質問1. アクター時代を通して、ロータリーってすごいと感じたことは？

船山百栄：世界平和を願って、奉仕と教育に対する事に、会員の皆様が全力でむけること。その絆の強さ。

鈴木祥太：ロータリアン各個人の思いやりと行動力です。困ったときに相談すると専門家を探し解決の手助けをしていただいたり、自分の時間を犠牲にして面倒な手配も嫌な顔ひとつせず助けてもらいました。

永野祥司：私の父は個人事業主でしたが、ロータリーと言えはすごい会社の社長が集まる団体として一目おいていました。そして私も初めてロータリアンの方と接した時に、“これぞ経営者”という印象を受けました。

質問2. アクト時代ロータリアンになりたいと思ったことがありますか？インターアクト時はどうでしたか？ローターアクトの時はどうでしたか？実際に入会をオファーされた時、どう思いましたか？

船山百栄：ロータリーの活動については、とても興味深いものがありましたが、私自身が、ロータリーに入る予定は考えていなかった。何故なら企業の社長が入会するものだと思っていたのと、現在の仕事をする予定がなかったため、まったく考えていなかった。

幼少の頃から、ロータリーのマークを見てきた事、それに重ねて、インターアクト・ローターアクトを経験させて頂いてきたので、ロータリーに対して抵抗なく、入会ができた。

鈴木祥太：インターアクト時代はロータリークラブに入会したいとは考えませんでした。学生という立場では、社会人で各業界の最前線で働いているロータリアンを現実味がなく遠い存在に感じていたからだと思います。

ローターアクト時代は学生から社会人になるタイミングで自分でも将来のことや今後の仕事のことを考えるようになり少しロータリアンを現実の自分の生活に近い存在に感じるようになりました。ですからローターアクト期間の後半は将来ロータリアンになりたいと思っていました。

入会のお誘いがあった時は少し複雑な気分でした。嬉しさ半分、不安が半分という状況でした。私がロータリーに入会した年齢は33歳でした。アクトの時に私が接してきたロータリアンは60歳代70歳代が多く若い方でも40歳代でした。もっと歳を取ってから入会することをイメージしていましたので不安がありました。

永野祥司：インターアクトではもちろん、目の前のロータリアンのような大人になりたいと思いました。し

かしまさか自分が本当にロータリアンになれるとは思っていませんでした。しかし、ローターアクトに入会して、少しずつロータリアンが身近に感じるようになってきました。オファーされたときは、恩返しのつもりで即入会を決めました。

質問3. インターアクト、ローターアクトを経験したことで、現在のロータリー活動にプラスになっている点は何ですか？

船山百栄：ロータリー活動が、抵抗なく感じる点。

鈴木祥太：アクターの気持ちが少しは理解できることかと思います。ロータリアンが思っている以上にアクターはロータリアンのことを知りません。実際私はインターアクトの頃、ほとんど理解していませんでした。その為にロータリーのことを色々と話そうとしています。青少年奉仕以外の奉仕活動や職業奉仕のことなどです。

永野祥司：まずインターアクト、ローターアクトを経験していなければ経営者になっていなかったと感じます。また、ローターアクト当時よりお世話になった方々が多く、クラブに残って頂いているのですぐに馴染む事ができました。さらには地区委員長もまだまだ経験する事は無かったと思います。

質問4. インターアクターからローターアクターに、そしてローターアクターからロータリアンへステップするのに、最も鍵となったことはなんでしょう？

船山百栄：ロータリーの考えを、ほんの少しでも理解していたこと。

鈴木祥太：私のインターアクトクラブの提唱クラブはローターアクトクラブも提唱していましたし、提唱クラブのロータリーファミリーとして交流もありましたのでローターアクトへの入会はスムーズでした。ローターアクトからロータリーへの鍵は自分の入会したいという気持ちだと思います。

永野祥司：すべて先輩からの誘いだと思います。インターからローターは堺市から岸和田市なので直接的な繋がりは無かったのですが、ローターアクトの先輩から電話を頂き、入会を決意しました。また、私は直接ローターアクトからロータリアンになったのではなく、31歳から40歳まで青年会議所も経験しました。もちろんロータリアンの紹介です。

質問5. 反対にロータリーに入会しなかった仲間はなぜ入会しなかったと思いますか？

船山百栄：人それぞれなので。

鈴木祥太：理由は3つあると考えます。①経済的な理由 ②時間の余裕 ③社会的な立場 です。

私と同じようにロータリークラブに入会したいと思っている仲間は多くいました。しかし、クラブによって年会費は様々でも決して安くはないですし、昼間の週に1回の例会は働き盛りの社会人にとってはハードルが高く、例え時間が取れたとしても社会的な立場がまだないことから会社や上司の理解は得られない。上の理由が解決できた頃には卒業から時間が経過してしまいロータリーとの関係が切れている。

永野祥司：環境の問題だと思います。やはり、ロータリーに入会するにはそれなりの企業を経営する者でないと難しいというイメージがあります。また実際に収入もある程度ゆとりが無いと難しいのも事実です。そのあたりから環境が揃わないとハードルが高いという事だと感じます。

質問6. インターアクト、ローターアクト時代を振り返り、こうしてくれればもっとローターアクトに入ったのに、こうしてくれたらロータリーに入会するのにと感じることはありませんか？

船山百栄：私の頃は、ロータリーとの接点が弱かったために、ロータリーへの理解があまりできなかったのではないかと感じます。

現在は、インターアクト・ローターアクトの活動も盛んになってきているので、ロータリーへの理解、身近さを感じているので、入会しやすい環境には、なりつつあるのかと、感じている。

鈴木祥太：インターアクト・ローターアクトを卒業してもロータリアンとの関係が継続できる環境やシステムが必要だと思います。インターアクトやローターアクトの同期が集まる機会をロータリーが提供し同窓会のような雰囲気をつくることも有効ではないかと思っています。そこには定年を迎えた顧問教師の先生方も参加いただけるといいと思います。

永野祥司：私はあまり感じませんでした。しかし、ローターアクトでは将来経営者を目指している方や、後継者などのメンバーを増やす事で間違いなくロータリーの入会は増えると思います。

質問7. ロータリアンに望む、インターアクト、ローターアクトに対しての接し方がありましたら御意見ををお願いします。

船山百栄：インターアクト・ローターアクトは、ロータリアンのように、自分もその位置に立てるような人間に成長するきっかけとして感じる、機会であり、ロータリアンに対する、尊敬や敬意を感じてもらえるように、私たちも経験など豊富な話をして、身近に感じ、目標となる大人として、接していくことが必要なのかな……次世代に繋げるために。

鈴木祥太：なるべく時間を取ってたくさん話していただきたいと思います。ロータリークラブのこと仕事のこと家族のことなど彼らからは興味はあってもロータリアンに話しかけるのは緊張するし恥ずかしいしハードルが高い。多くのロータリアンにとってはお孫さんやお子さんの世代かと思いますが、家族以外の青少年と交流を持つことは、身内とは違う発見や感動があると思います。

永野祥司：私個人的にはなりますが、個人事業主から会社経営まで成長させていただいたのはそばにロータリアンがいたからだと感じます。奉仕活動だけでなくビジネスやプライベートな相談に乗って頂けることだと感じます。

質問8. インターアクトとローターアクトのつながりをより濃いものにするためのアイデアはありませんか？

船山百栄：交流を常に行うこと。

互いに理解しあわないと、つながっていかない。

鈴木祥太：合同での活動を増やすことが重要だと思います。主催は提唱クラブでも地区でもいいと思います。ただインターアクターの危機管理のためにも個人での連絡は禁止して、顧問教師の先生を窓口をお願いする必要があると思います。

永野祥司：普段から一緒に活動する事ではないでしょうか

質問9. ローターアクトとロータリアンのつながりをより強いものにするためのアイデアはありませんか？

船山百栄：互いに理解しあわないと、つながっていかない。

鈴木祥太：私たちの地区ではローターアクトを卒業した後は継続的な親睦が難しく、ロータリアンとの関係が途切れてしまう状況が続いてきました。昨年度から地区内に学友委員会が新設され「学友の集い」が開催されています。地区ではなくても各提唱クラブ内で同じようなローターアクト学友が集う機会を設けることが必要だと考えています。

永野祥司：上記同じく普段から一緒に活動する事です。またアクト卒業後、すぐにロータリーは正直早いと思います。40歳あたりまで繋がり続ける事が重要だと感じます。

質問10. その他

永野祥司：私の人生は、高校生の時のロータリーとの出会いなくしてはあり得ないと確信しています。今までお世話になったロータリアンの方々に心から感謝しています。そんな、ロータリアンになれるよう、これからもロータリー活動に励んでまいります。

IACからRACそしてRCへ

国際ロータリー第2580地区

東京ワセダロータリークラブ

会長エレクト 鈴木 祥太

私は中学1年生12歳の時に第2580東京東ロータリークラブが提唱する日本大学第一中学高等学校のインターアクトクラブに入会いたしました。それから中学3年間、高校3年間をインターアクトとして活動して高校2年生の時にインターアクトクラブの会長を経験させて頂きました。高校を卒業して18歳からは同じく東京東ロータリークラブが提唱している東京東ロータリークラブに入会し定年である30歳まで活動し卒業いたしました。それから3年後33歳の時に東京ワセダロータリークラブに入会させて頂き現在41歳になります。

インターアクト・ロータリークラブに入会して一番メリットを感じたことは、青少年やロータリアンを含めてたくさんの友人ができたことです。学生から未熟な社会人の時代に青少年奉仕活動を通して形成した人間関係は、今でも深い絆で結ばれた大切な存在です。その中の一人は、同期の興南高校インターアクトクラブ会長でロータリークラブと一緒に活動し、現在は那覇西ロータリークラブの会員になり本年度地区インターアクト委員長をしています。私のロータリー歴は今年でわずか9年目ですが、ロータリークラブの青少年奉仕プログラムのお陰で15歳の時から付き合いのある25年来の親友がたくさんできました。心から感謝しております。

私がインターアクトを卒業するころ、インターアクトとロータリークラブの交流はとても盛んでした。同じ提唱クラブのもと合同で活動することも多くありました。地区での合同活動もありました。ですからインターアクトを卒業してロータリークラブに入会することは至極当然のことでスムーズでした。ロータリークラブにはインターアクトの卒業生がたくさんいて活気がありました。交流の機会を増やすことがインターアクトの活動を楽しく有意義なものにして、さらにロータリークラブの会員増強につながると感じます。インターアクトの会員増強は学校や顧問教師の方々の方々の体制によって左右されることが多いため、ロータリアンが直接効果を出すことは難しいと思います。しかし、ロータリークラブの会員増強はロータリアンの熱意と行動によって大きな効果が期待できます。会員減少に悩むロータリークラブは長年経過してきた中で、提唱クラブの興味が薄れ交流が衰えているクラブではないでしょうか。

私の所属する東京ワセダロータリークラブはロータリークラブを提唱していますがインターアクトはありません。ロータリアンになった現在の私の夢は自分のクラブでインターアクトクラブを提唱することです。私の人生の財産になっている10代のインターアクト時代に提供してもらった貴重な体験や思い出や友人を、一人でも多くの自分よりも若い世代の後輩たちに体験して欲しいと気持ちを込めロータリアンとして活動してまいります。

現在、私の地区ではロータリークラブの卒業生でロータリアンになる例は本当に少ないということです。数えるほどしかないかもしれません。これは非常にもったいないことだと思います。その理由は3つあると思います。

- ① 経済的な理由…衛星クラブなどもありクラブによって年会費は様々だったとしても30代40代が会員を継続しようと思うと決して安くはなく入会は難しい。
- ② 時間の余裕…最近では例会も夜間開催やウェブ開催など多様化してはおりますが、多くのクラブは平日の昼間の開催です。週に1回、昼間の例会は例会場へのアクセスも考えると3時間は必要で働き盛りの社会人にとってはハードルが高く参加が難しい。

- ③ 社会的な立場…例え時間が取れたとしても社会的な立場がまだないことから、昼間仕事を抜けることに会社や上司の理解が得られない。

そして就職して活躍して昇進して、上の理由が解決できた頃には卒業から時間が経過してしまいロータリーとの関係が途切れてしまっているため、ロータリーへの入会の意志が薄れている。

しかし、ローターアクト卒業生の中にはロータリーに感謝していて、憧れている青年が多くいます。昨年度まではローターアクトクラブは定年が30歳で卒業することになっていました。今までは卒業生が集まる機会がありませんので30歳以降はロータリークラブとの関係が次第に薄れ最後には全く交流が無くなってしまいうケースがほとんどです。つまり卒業生の受け皿がありません。今後、我々のローターアクトクラブから卒業生が巣立った時には彼らが定期的に集まり交流する機会を作りたいと思っています。ローターアクト活動の支援に力を注ぎ志の高い卒業生をたくさん輩出し、彼らと長期的にコミュニケーションを継続することによって、必ず将来インターアクターからローターアクターそしてロータリアンとロータリークラブの会員増強につながると確信しています。

九里学園高等学校のインターアクトクラブ活動（資料2）

米沢ロータリークラブ会員 九里 廣志

まず私が理事長・校長を務めている『九里学園高等学校』について、紹介させていただきます。それは、こうやって報告させていただくことになった背景と、深く繋がるからです。

『九里学園高等学校』は、1901（明治34）年、九里とみ【1872（明治5）年～1958（昭和33）年没・46年間校長職に就く】によって設立された山形県内初の私立学校『九里裁縫女学校』がその前身です。戦前は校名が示す通り、当時の女性の生活に欠かせなかった裁縫技術の養成を通して、「身を立てる業を身に付け、一人の人間として堂々と生きて行ける女性を育てる」ことを目的とした教育を行いました。太平洋戦争後の学制改革により、1947（昭和22）年『米沢女子高等学校』と名称を変え、普通科・家庭科・商業科・そして後には芸術科なども擁する学校として、多彩な進路目標に対応する教科目自由選択制を採用した教育活動が行われました。そして1999（平成11）年からは、男女共学の『九里学園高等学校（普通科）』として、新たなスタートをきりました。2005（平成17）年からはその流れを引き継ぐユニバーサルコースの他に、当時問題となった『未履修』をさせないための、進学指導を強化する指導を行うプログレスコースを設けて、教育活動を展開しています。特にプログレスコースでは、進学指導と共に地域の未来を切り開いて行くリーダーの育成を目標に、2015（平成27）年には文部科学省から『スーパーグローバルハイスクール（SGH）』【注1】のアソシエイト（準指定）校として、また2019（令和元）年からは『地域との協働による高校改革・グローバル型』【注2】の推進校としての指定をうけて、SDGs【Sustainable Development Goals—持続可能な開発目標】の推進をベースにした新時代に対応した教育を推進しています。

さて、本校が米沢ロータリークラブの提唱の下で、インターアクトクラブ【以下「IAC」と表記】活動を行うようになったのは1979（昭和54）年、まだ『米沢女子高等学校』時代のことです。当時、本校の理事長・校長で、米沢ロータリークラブの会員であった九里茂三【注3】の指導の下、多分全国でも珍しいと思うのですが、「生徒会としてインターアクト活動を実践する、生徒全員がインターアクター」という形での活動を開始し、現在に至っているのです。設立当時は全校生が約1000名前後の時代でしたから、日本では、いや世界でも会員数が一番多いIACだったのではないのでしょうか。【注4】

ところで、IACの目標として、

1. 建設的な指導力を養成し、自己の完成を図る。
2. 他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えの奨励と実践。
3. 家庭と家族の重要性の認識と涵養。
4. 各自の責任を果たし、懸命に努力する。
5. 全ての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとしてその品位と価値を自覚する。
6. 地域社会、国家及び世界の問題についての知識と理解を深める。
7. 国際理解と親善の推進。

という7つが定められています。実はこのIACの目標と、九里学園高等学校が米沢女子高等学校時代から受け継いでいる「校是」は、極めて類似したもののなのです。

九里学園高等学校は『協同和楽—みんなで楽しい学園生活を送ろう』を前提として、『礼—人間の尊厳を信じ、その高貴さにふさわしく行為しよう』と『譲—自らの持てる力を発揮して、愛する世の人々に捧げよう』という行動規範を校是として掲げている学校です。この校是と、IACの提唱する目標を比較していただければ、その二つが一致した考えで構成され、社会の中で若者がどのような生き方をして行けばいいのかを、同

様の思想で指し示していると理解いただけるのではないのでしょうか。現在でも本校では、朝のショートホームルームの最初に、数十秒の黙想の後、この校是を唱和して一日をスタートしているのです。

九里茂三は、この校是について1994（平成6）年に北海道中標津ロータリークラブで、次のように述べています。「わが校の建学の思想—それを私は、その学校の創立者の意図というよりは、そこに集う教職員の統一された教育意志だと言っているのですが、特に私学は、私たちはみんな、このような教育を実現して、父母たちの期待に応えますということを宣言し、それに向かって責任をもってその実現に当たらなければならない。それが私学の見学の精神だと思う。」と前置きし、この『礼』と『讓』の校是を、「儒教思想を思わせる『礼』と『讓』を、近代的な精神におきかえて、人間の尊厳の自覚とそれのあくなき追求のための自己啓発、まためいめいが特技を磨き、良き職業人となる事よっての社会貢献こそが、人生の目標であり、学ぶ事の意味だと訓え、そのためのプログラムを試行錯誤し続けたのであります。もちろんそれは生徒たちだけではなく、教職員我々にとっても、生きる指針となるべきものでした。」と説明しています。そして、「さて、ロータリーが目指すものも、まさにそうではないかと思うようになりました。」と。即ち、本校が『生徒会としてインターアクト活動を実践する、生徒全員がインターアクター』という形でIACに参加し活動しているのは、「将来はロータリアンと同じ意識を持った社会人になって欲しい」という願いなのです。ロータリアンとして、IACの目標と出会った九里茂三が、単に学校の教職員による教育だけではなく、地域社会のリーダーであるロータリアンにも協力していただこうと考えたのは当然のことだったのでしょうか。以降、米沢ロータリーに加えて、米沢上杉ロータリーにも提唱クラブとしてご協力いただくことになりました。活動資金の援助だけではなく、精神的バックアップ、そして卒業生に対する『出前授業』の開催等々、多彩な応援をいただいで現在に至っているのです。

米沢ロータリークラブの周年記念式典でのIAC会長の挨拶や、ある年の卒業式で述べられた答辞の中でも、IAC活動と学校の教育活動の双方が生徒たちの指針になって、成長を促していることを汲み取ることができます。

前者では、「……多数のロータリーの方々に、そして第253地区【※当時は福島山形が一緒の地区編成】のインターアクトクラブの先輩校の方々に参加していただき、生徒全員加盟という形で昭和54年6月にスタートした本校のインターアクトクラブも間もなく十年目を迎えようとしております。今まで本校はインターアクトのねらいである奉仕と国際理解の二つの大きな目標に向かってロータリーの方々のご指導をいただきながら努力してまいりました。特に奉仕活動、ボランティア活動については、インターアクトに加盟する以前から頑張っておりましたが、加盟したことによってさらに活動の活性化にはずみがついたのだと先生方にお聞きしております。すなわち、昭和53年から55年までの3年間はボランティア指定校として、県で初めての推薦を受け、昭和57年にはそれまでの本校の歩みが高く評価され、県民相互扶助運動を組織化した『愛の事業団』から、『愛の鳩賞』を団体の部で受賞しております。現在も先輩の築いてくれた土台をしっかりと受け継ぐべく、頑張っているつもりでおります。ところで本校の校是はインターアクトがねらいとすることと共通していると言えます。「礼」と「讓」が本校の校是であります。これについては機会ある毎、校長先生のおはなし、担任の先生、それに生徒同士の話し合いの中で常に意識されています。【中略】ここには本校生の有るべき姿が明確にされております。即ち、高校時代に人間としての基本的な生活習慣を確立することを土台として、さらに快適な生活習慣をつくるために、精神的に物質的に、他人や社会につくしてゆく事の必要性を強調されているのです。したがって私達生徒が本校の校是を達成するためにインターアクトクラブの存在はぴったり合致することになります。つまり、他校との交流会も、本校にさまざまな刺激を与えてくれます。今年も8月に2泊3日の日程で、第253地区の年次大会が開催され、次年度のリーダーを中心に、本校からも7名参加させてもらいました。さらに、地区外研修に、そして外国にまで目を見はらせてくれるインターアクトクラブの魅力は、なかなか言葉では言い尽くせません。これからもロータリアンの方々のご期待に一

歩でも近づけるようがんばって行くつもりであります。さらにご指導の程お願いします。」

後者の答辞では、「・・・まず高校生活の始まりは『礼』と『讓』の昭和から始まりました。吾妻登山・クラブの合宿・研修旅行の旅先でも唱和いたしました。教室に掲げられている『礼』と『讓』の扁額は私私たちを静かに見つめていました。一年の時はわからずじまいでしたが、二年になり学校生活に慣れて来るにつれて、すこしずつその意味するところを理解し始めたように思います。創立90周年の記念講演で、ねむの木学園の宮城まり子さんのお話をお聞きしたのはその頃でした。物語のように御自分の創立の頃のことを語って下さいましたが、そこには本校の創立者である九里とみ先生のお姿を見たように思いました。女性には教育は不要と言われたところに、女学校を創設された九里とみ先生と、障がい児に教育の光をと、ねむの木学園を創設された宮城まりこさん。大変な労苦と不安はどんなにかお二人を苦しめたことでしょうか。しかしお二人は生徒や障がい児のためにすべてを捧げられたのだと思います。時代を越えて、自分の生き方をきびしく追及されたお二人であったからこそ、同じような真理を見つけられたのではないのでしょうか。自分を信じ、人間の尊さを追求する、またそれと同時に、人の幸福のために自ら行動する。それはいつしか巡り合って自分の喜びとなる。三年間を通して私は『礼』と『讓』をそのように理解しました。・・・」

と本校の生活の中で成長した思いを述べています。これに対して、当時学園長であった九里茂三は、「私たちがそこまで教えたわけでは無いのに、若者たちはシェルドンの『最もよく奉仕する者はもっとも幸いを得る』ことを見事に理解してはおりませんか。他人様のためになることがそのまま自らの喜びになるというロータリーの思想が、卒業生の心に美しい灯となって、将来につながって行く事に、私は絶賛を与えた次第であります。」との感想を述べています。IAC活動もこのような思いを育てる大きな要素になっていると実感し、様々な方々から生き方を学んでゆく生徒たちの成長を、この時も嬉しく感じながら聞いていたのだろうと想像します。

現在、九里学園高等学校では、文部科学省指定の「地域との協働による高校改革・グローバル型」の推進校として、諸活動を進めていると前に述べました。そして、その中心にSDGsの推進を基本に据えての教育を行っています。地域の理解をスタートとして、地域が抱えている様々な問題をどうやって解決して行くかを、地域自治体や大学などの協力も得ながら、学んでいるところです。この学びは単に地域の問題解決にとどまらず、世界が抱える問題解決を目指す活動として発展します。今回の新型コロナウイルスの感染がグローバル社会の抱える大きな共通課題であることを見ても、このSDGsが提唱する考えと求めている行動は、本校の校是は勿論、ロータリークラブそしてIACの目標が目指すものと同一であると理解できます。社会や経済を發展させ、その結果、暮らしが豊かになったとしても、それが命を脅かしたり、ある特定の人の利益にしかならなかったり、資源を枯渇させたり、環境を悪化させてしまうのであれば意味がないのです。諸活動はあくまでも私たちの世代は勿論、次に続く世代の人たちにと、将来にわたって継続できる活動でなければなりません。「地球上の『誰一人取り残さない』ための諸活動を行おう」というSDGsの誓いも、まさに若者たちに伝える教育の基本姿勢なのです。

これからもロータリークラブのご協力を得ながら、地域社会、国家及び世界の問題についての知識と理解を深め、IACのメンバーとして活躍できる、そして身近な地域だけでなく、国際社会の親善と發展のためにも行動できる、より豊かな教育を進める学校として、誠心誠意努力して行きたいと決意しています。

【注1】 国際的に活躍できる人材育成を重点的に行う高等学校を指定し、語学力だけでなく、社会の課題に対する関心や教養、コミュニケーション能力、問題解決能力などを身に付けたグローバルリーダーの育成を目指す。全国で56校が指定され、そのアソシエイト校【多くの申請があったため、指定校に漏れた学校の中から、グローバルリーダー育成に向けた教育の開発・実践に取り組む準指定校が選ばれた。】も55校が指定された。

- 【注2】新高等学校学習指導要領の実施を踏まえ、地域を分厚く支える人材の育成に向けた教育改革を推進するため、高等学校が自治体や大学などの高等教育機関、産業界との協働によりコンソーシアムを構築して、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取り組みを推進することで、地域振興の核としての高等学校の機能強化を図ろうとする取り組み。取り組み内容に応じて、「地域魅力化型（公立19校、私立1校）」「プロフェッショナル型（公立11校）」「グローバル型（公立14校、私立6校）」が全国で指定された。
- 【注3】1921（大正10）年～2017（平成29）年没。1961（昭和36）年、40歳で米沢女子高等学校の第4代校長となる。それまでの建学の精神を「礼」と「讓」、「協同和楽」にまとめ、新体制の学園作りを行った。1965（昭和40）年に米沢ロータリークラブに入会。1970（昭和45）～71（昭和46）年度会長。1986（昭和61）年から2度、2800地区【当時は福島・山形合同の253地区】のガバナーを務める。山形県の私学総連合会・私立高等学校協会会長、日本私立中学高等学校協会副会長を歴任。2003（平成15）年「ペスタロッター教育賞」受賞。第一回目受賞者は宮城まりこさん。
- 【注4】IACは1962（昭和37）年にアメリカで最初のクラブが設立された。その翌年の1963（昭和38）年、仙台育英学園高等学校【提唱・仙台東RC】で100余名の構成会員で、日本初のIACが設立された。当時世界最多の会員数を擁するIACと言われた。翌日には京都市立西京高等学校【当時は西京商業高等学校。提唱京都西RC】でも設立された。会員数は不明。

グレタ・トゥーンベリさんのスピーチ全文（資料3）



私から皆さんへのメッセージ、それは「私たちはあなたたちを見ている」、ということです。

私は今、この壇上にいるべきではありません。私は海の向こうで学校に行っているべきです。それなのに、あなたたちは私に希望を求めてここにきたのですか？よくそんなことができますね！

あなたたちは空っぽの言葉で、私の夢そして子供時代を奪いました。それでも私はまだ恵まれている方です。

多くの人たちが苦しんでいます。多くの人たちが死んでいます。全ての生態系が破壊されています。私たちは大量絶滅の始まりにいます。

それなのにあなたたちが話しているのは、お金のことと、経済発展がいつまでも続くというおとぎ話ばかり。恥ずかしくないのでしょうか！

30年以上にわたって、科学ははっきりと示してきました。それに目をそむけて、ここにやって来て、自分たちはやるべきことをやっている、どうして言えるのでしょうか。必要とされている政治や解決策はどこにも見当たりません。

あなたたちは私たちに“耳を傾けている”、そして緊急性を理解していると言います。しかしどれだけ私が怒り悲しんでいようと、私はそれを信じたくありません。

なぜなら、もしあなたたちが状況を理解していながら行動を起こしていないのであれば、それはあなたたちが邪悪な人間ということになるからです。私はそれを信じたくありません。

二酸化炭素排出量を10年で半分に減らしたとしても、地球の平均気温を1.5℃以下に抑えるという目標を達成する可能性は50%しかありません。そしてそれによる取り戻しのつかない連鎖反応を埋め合わせることは、制御不能になります。

あなた方は50%でいいと思っているのかも知れません。しかしその数字には、ティッピング・ポイント（小さな変化が集まって、大きな変化を起こす分岐点）やフィードバックループ（フィードバックを繰り返して改善していくこと）、空気汚染に隠されたさらなる温暖化、そして環境正義や平等性などの要素は含まれていません。

そして、私たちや私たちの子供の世代に任せっきりで、何千億トンもの二酸化炭素を吸っている。私たちは50%のリスクを受け入れられません。私たちは、結果とともに生きなければいけないのです。

「気候変動に関する政府間パネル」が発表した、地球の温度上昇を1.5℃以下に抑える可能性を67%にするために残っている二酸化炭素の量は、2018年1月の時点で420ギガトンでした。今日、その数字はすでに350ギガトンにまで減っている。

なぜこれまでと同じやり方で、そしていくつかの技術的な解決策があれば、この問題が解決できるかのようには振舞っていただけるのでしょうか。現在の排出量レベルを続ければ、残っているカーボンバジェット（温室効果ガス累積排出量の上限）は、8年半以内に使い切ってしまう。

しかしこの現状に沿った解決策や計画は作られないでしょう。なぜならこの数字は、とても居心地が悪い

から。そしてあなたたちは、それを私たちにはっきりと言えるほど十分に成熟していない。

あなたたちは、私たちを失望させている。しかし、若い世代はあなたたちの裏切りに気づき始めています。未来の世代の目は、あなたたちに向けられている。

もしあなたたちが裏切ることを選ぶのであれば、私たちは決して許しません。

私たちはこのまま、あなたたちを見逃すわけにはいかない。

今この場所、この時点で一線を引きます。世界は目覚め始めています。変化が訪れようとしています。

あなたたちが望もうが望ままいが。

2019年4月 イギリス議会でのスピーチ

私の名前は、グreta・トゥーンベリ。16歳です。スウェーデンからきました。未来の世代を代表して話します。あなたたちの多くは、ただの子どもだから、私たちの声を聞きたくないでしょう。しかし私たちは、気候変動枠組条約のメッセージを繰り返しているだけなのです。

あなたたちの多くは私たちが学校に行かず、大事な授業を受けないことを心配しているでしょう。しかし、あなたたちが科学に耳を傾け、私たちに「未来」をあたえてくれたらすぐに学校に戻ります。これは本当に求めすぎといえるでしょうか。

2030年に私は26歳になります。私の妹ベアタは23歳になります。多くのあなたたちの孫や子どもと同じです。いい年齢だといわれます。まだこれから先に人生があるからです。しかし私は、この先の人生がそんなにいいものであるのか確信できていません。

私は、大きな夢を抱くことができるこの時代と場所に生まれてよかったと感じています。なりたいもの何にでもなることができ、住みたい場所に住むことができました。私のような人は必要なものすべてを手に入れました。それは、私たちの祖父母には想像もできなかったことです。欲しいものすべてを手に入れることができましたが、今、私たちはすべてを失うかもしれません。

今、未来はもう無いかもれません。

なぜなら一握りの人達が、想像できないくらいのお金を儲けるために、未来が売られたからです。「可能性は無限大」「人生は一度つきり」とあなたたちがいう度に、私たちから未来は盗まれるのです。

あなたたちは嘘をつきました。偽の希望をあたえました。未来はくるのを楽しみにするものだと、あなたたちは私たちに言いました。そして一番悲しいことは、多くの子ども達は、私たちの末路に気づいていないことです。気づいたときにはもう手遅れでしょう。しかし、私たちはまだ運がいいほうです。最も悪影響がある人達は、すでにその影響を受け始めています。しかし、その人達の声は聞かれないのです。

私のマイクのスイッチは入っていますか。私の声は聞こえていますか。

今から10年と252日10時間後の2030年、人の手を離れて後戻りのできないような連鎖反応が発動する状況になります。それはご存知のように、今の文明の終わりを導くかもしれないものです。

それは、時がくるまでにCO2の放出量を少なくとも50%削減するなどの、かつてない永続的な変化を、社会のあらゆる面で起こさない限り実現してしまいます。念のため触れておくと、この計算はまだ生まれていない大規模な発明品を考慮に入れていません。その発明品は、大気中にある天文学的な数量の二酸化炭素をなくさなければならないのです。

さらにこの計算は北極圏の永久凍土の融解による強力なメタンガスの放出などにみられる、まだ見ぬ臨界点とフィードバックループを考慮していません。

この科学的計算には、大気汚染による温暖化、パリ協定のいたる所で明言されている公正な見解、つまり「気候正義」を考慮していません。しかし、これらは世界規模で絶対的に取り組む必要があります。

今のは、ただの計算であることを忘れてはなりません。ただの予測です。「引き返すことのできない時」は、

遅かれ早かれ2030年前後に訪れるであろうということです。確実なことは誰にもわかりません。しかしながら、この計算は単なる意見や大雑把な予測ではないので、だいたいこの時期に起こると確信できるのです。

これらの予測は、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）によってすべての国で決議され、科学的な事実によって支持されています。世界中の主な科学を扱う国家機関のほとんどは、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の研究と発見を支持しています。

今、言ったことは聞こえましたか。私の英語は大丈夫ですか。

マイクのスイッチは入っていますか。ちょっと気になってきたので…。

この半年間、私はバス・電気自動車・電車で、数100時間にわたってヨーロッパ中を旅しました。人の生き方を変えるような言葉を繰り返し発してきました。しかし、そのことについて話してくれる人はおらず、これまで何も変わりませんでした。事実、大気汚染物質の放出量は上がり続けています。

各地の講演の道中では、滞在している国の気候政策について分析するのに多くの人が手伝いをしてくれました。しかし、それは本当に必要なことではありません。なぜなら、どこでも本質的な問題は同じだからです。その本質的な問題とは、要するに「きれい事」と「約束」があるにもかかわらず、気候と生態系の破壊を阻止し、遅くすることさえできていないということです。

しかしながらイギリスはとても特別です。その歴史は長く、驚くべき「炭素赤字」だけでなく、現在もカーボン・アカウンティング（炭素会計）を積極的に進めています。

グローバル・カーボン・プロジェクトによると1990年からイギリスは、国土のCO₂の放出を37%削減できたとされています。それはとても素晴らしいように聞こえます。しかし、その数には航空産業や海運業、貿易に関して放出されるCO₂が含まれていません。Tyndall Manchesterによると、もしそれらの数が含まれると、その減少は1990年から約10%減、だいたい1年間に0.4%減にしかありません。

この削減の主な理由は気候政策の成果ではなく、2001年のEU（欧州連合）の大気についての取り決めです。（EUが）イギリスに老朽化して有害な物質を多く放出する石炭発電所を閉鎖させ、それほど公害に影響しないガス発電所に取り替えさせたのです。粗悪なエネルギー源を、より粗悪ではないものにするのは、もちろん大気汚染物質の放出削減を導きます。

しかしおそらく、最も大きな気候危機についての誤解は、その放出を「減らさなければならない」ということです。なぜなら、これは十分な結果とはほど遠いのです。気温上昇を1.5～2℃以下でとどめたいなら、放出を「止めなければ」なりません。もちろん「放出の削減」は必要です。しかしそれは、過程の始まりにすぎず、数10年もしくはそれ以下の間で放出を「終わらせる」必要があります。「終わり」というのは、完全に0を意味します。そしてすぐにマイナスの数字になることもです。つまりそれは、現在のほとんどの政治を不可能にします。

放出を「止める」かわりに「削減する」という言葉を使うことは、おそらく今までのビジネスを今後も続けるためのもっとも大きな力になっています。化石燃料の新たな開発に対するイギリスが行っている支援には、例えば、シェールガスの水圧破碎法（すいあつはさいほう）産業や、北海の油田とガス田の拡張、空港の拡張が含まれます。そして真新しい炭鉱の計画許可は非常にばかげています。

この止まらない無責任な動きは、人類の1つの大きな失敗として疑うことなく歴史に名を刻むでしょう。

皆、私と学校をストライキをした数百万人の「スクールストライカー」に、今まで成し遂げられたことを自慢してはどうかとってきます。しかし、向き合うべきは排出量曲線（emission curve）です。残念ながら、それはまだ上昇傾向です。この曲線は私たちが見るべき唯一のものなのです。

あらゆる意思決定がどのように作用してこの曲線に影響するのかと問う必要があります。今や成功と富を経済成長のグラフで測るのは終わり、温室効果ガスの放出曲線で計るべきなのです。「これを終わらせるのに十分なお金があるかどうか」お金の有無だけではなく「これを終わらせるのにカーボンバジェット（炭素予算）の節約は十分かどうか」と、問うべきです。これこそ私たちの新たな基軸となる「通貨」とすべきです。

多くの人は、気候危機に何も解決がないとっています。それは正しいでしょう。なぜなら、いったいどうしたらいいというのでしょうか。どうすればいままで人類が直面してきたなかで、最大の危機を「解決」できるのでしょうか。どうすれば戦争は「解決」できるのでしょうか。どうすれば最初に月に行く方法を「解決」ができるのでしょうか。どうすれば新しい発明をする方法が「解決」できますか。

気候危機は、今まで人類が直面したなかで最も簡単でありながら最も難しい問題です。なぜ最も簡単な問題であるかという、私たちは今すべきことがわかっているからです。つまり、温室効果ガスの放出を止めなければいけないということです。最も難しい問題である理由は、現在の私たちの経済は完全に化石燃料に頼りきりであるが故に、絶え間ない経済成長のために生態系を破壊し続けているからです。

「では、どのように解決するのか。」あなたたちは、私たち（気候のためにストライキしている子ども達）に問います。

私たちはこう答えます。

「確実な方法を知っている人は誰一人としていません。しかし、化石燃料の燃焼をやめて自然を再生し、未だに明らかになっていないことを元の状態に戻す必要があります。」

あなたたちは「そんなの答えではありません。」といます。

だから私たちはこう答えます。「危機を危機とし認識し始めないといけません。そして、すべての解決を知らなくても行動すべきです。」

「そんなのまだ答えではありません。」とあなたたちはいいます。

そして私たちは、循環経済や自然の再生、「公正な移行」の必要性について話し始めます。すると、たちまちあなたたちは、何のことを話しているかわからなくなります。

これらすべてに必要な解決策は誰にも知られていないからこそ、科学による裏付けのもと、共に結束し、その方法を共に見つけなければいけないと、私たちは主張します。しかし、あなたたちは聞こうとしません。なぜなら危機を解決するためのそれらの答えは、あなたたちの多くがあまり理解していないからです。もしくはそれを理解したくないからでしょう。

あなたたちは科学の声を聞きません。なぜなら今まで続いてきたことを可能にする方法にしか興味がないからです。今だってそうです。そして、これらの答えはもう存在していません。なぜなら、その時に行動しなかったからです。

気候破壊を避けることは、カテドラル・シンキング。(大聖堂を建設す時に必要となる思考法)をしなければなりません。天井をどう建設していいかわからなくても、土台を最初に築く必要があります。

ときに私たちは、まず先に解決策をみつけなければなりません。何かを実現させると決めた瞬間、私たちは何でもできます。私たちが緊急時のように行動し始めた瞬間から、気候と環境の大災害を避けることができると信じています。人間は順応する生き物であり、今ならまだ修復可能です。しかし、これができるタイミングはそう長く続きません。私たちは今日、始めるべきです。これ以上の言い訳はできません。

あなたたち（大人）がこれまでに作り上げてきた社会の中で、私たち子どもの考えることが政治的に実現可能だと、あなたたちは言うでしょう。しかし、そのために私たちは、子どもの教育と子ども時代を犠牲にしようなどとは思いません。私たちは、あなたたちが一緒にセルフィーを撮り、私たちの行動を褒めてもらうために路上に連れ出されているわけではありません。

私たち子どもは、あなたたちを目覚めさせるためにこれをしているのです。あなたたちが意見の違いを脇に置き、危機に瀕しているときのように行動し始めるために、これをしているのです。私たち子どもは、希望と夢をとり戻すために、これをしているのです。

私のマイクのスイッチが入っていたと願っています。私の声が聞こえたと願っています。

気候危機を訴える学校ストライキ

ルールを変えて世界を救おう

8才ぐらいの頃に私は気候変動や地球温暖化のことを初めて耳にしました。それは人間の生活様式がもたらしたものでらしいのです。省エネのために電灯を消したり、資源を守るため紙をリサイクルするようにと教えられました。人間は他と同じ動物の一種にすぎないのに、地球の気候を変える力があるというのは、とても変だと思ったのを覚えています。だって人間にそんな力があって、気候変動が本当に起こっているなら他のことは話題にもしていないはずですから、テレビをつけたらそのことばかりのはずだし、ニュースでもラジオでも新聞でも、まるで世界大戦が起こっているかのように、それ以外のことは見聞きしないはず。でも、誰もその話をしていません。化石燃料を燃やすことが私たちの生存を脅かすほど悪いことなら、なぜ前と変わらない生活をしていられるのでしょうか？なぜ何の制限もないのでしょうか？なぜ違法なこととされないのでしょうか？私は納得できませんでした。あまりにも非現実的でした。それで私は11才の時、病気になりました。うつ状態になり話さなくなり食べなくなりました。2ヶ月で10キロ痩せました。後に私はアスペルガー症候群で強迫性障害で、選択的無言症だと診断されました。その症状は基本的に、必要だと思う時しか話さないことで、今がその必要な時なのです。(拍手) 私のような自閉スペクトラムに属してる人間にとっては、ほとんど全てのことが白黒どちらかなのです。私たちは嘘をつくのがあまり上手ではありません。ソーシャルゲームをしても大抵は楽しくありません。皆さんはお好きなようですが。(笑) 私にはいろんな意味で自閉的な人間の方が正常に思え、他の人たちはすごく奇妙に見えます。(笑) 特に、持続可能性の危機の話となると、気候変動は生存を脅かしていて、何より重大な問題だとみんな言い続けていながら、これまでと変わらない生活をしているのです。これは理解できません。排出をやめる必要があるならやめるべきだからです。私にとって、これは白か黒かの問題です。生き残りの問題となればグレーな部分はありません。文明を継続するのか、しないのかです。私たちは変わる必要があります。スウェーデンのような裕福な国は、少なくとも年15%の排出削減を開始する必要があります。気温上昇を「2度未満」に抑える目標のために必要なことです。もっとも、IPCCが最近発表したように、「1.5度未満」を目標にしたほうが気候による影響を大幅に減らせるそうですが、排出削減にそれがどういう意味を持つのか、想像することしかできません。メディアや、すべてのリーダーがこの話ばかりしていると思うかもしれませんが、口にすることさえありません。温室ガスが自然界に既に取り込まれていることも誰も口にしません。大気汚染が気温上昇を隠していて、化石燃料を使うのをやめたとしても、0.5度から1.1度もの追加の温度上昇要因があることも言わないのです。さらに、私たちは第6の絶滅期の真っ只中にいるという事実も、ほとんど誰も語っていません。200もの種が毎日絶滅していて、現在絶滅が起きているスピードは正常と考えられる状態と比べ、千倍から1万倍も速いのです。パリ協定のあらゆる箇所でも明確に宣言されているにも関わらず、衡平性や気候正義についてほとんど語られていません。これは世界的な規模で効果を生むために絶対不可欠なことです。つまり裕福な国は、今の排出ペースだと6年から12年の内に排出をゼロにする必要があるということです。それによって、貧しい国の人々が私たちの既に作り終えている道路や学校や病院や水道や電気などといったインフラを整え、生活水準を高める機会が得られるようにするためです。インドやナイジェリアのような国が、気候危機を気にかけてどうして私達に期待できるのでしょうか？すべてが整っている裕福な国の私たちが、気候やパリ協定を守ることを少しも気にかけていないのにです。では、なぜ私たちは排出を減らさないのでしょうか？なぜ実際排出はまだ増え続けているのでしょうか？知っていながら大規模な絶滅を起こそうとしているのでしょうか？私たちは邪悪なのでしょうか？もちろんそうではありません。みんながこれまで通りのことを続けているのは、私達の日常生活がどんな結果を引き起こすのか大多数の人がまったく知らず、速やかな変化が必要なことを知らないからです。私たちは誰もが皆知っていると思っていますが、知らないのです。どうして知ることができるのでしょうか？もし本当に今が危機的状況で、その原因が私たちの排出するものにあるのなら、

少なくとも何か予兆があるはずです。水没する都市や何万もの死者、倒壊した建物で埋もれていく国々なんかだけでなく、何らかの不自由が出てくるはずです。でもそうなってません。しかも、誰もそのことを言いません。緊急会議も見出し記事も緊急速報もなく、誰も危機の最中にいるような行動を取りません。気候科学者や環境派の政治家でさえ、多くの人は飛行機で飛びまわり、肉や乳製品を食べ続けています。私が百歳まで生きるとしたら、2103年にまだ生きています。将来のことを考えるとき、みんな2050年以降のことは考えません。順調ならその時点で、私はまだ人生を半分も生きていません。その先何が起こるのでしょうか？2078年には私は75歳の誕生日を迎えます。子供や孫がいたら、その日を共に過ごしてくれるかもしれません。皆さんのことを聞くかもしれません。2018年頃に生きていた人たちのことをまだ行動を起こせる時間があつたのに、なぜ何もしなかったのかとたずねるかもしれません。今すぐ行動するかどうかが私の全人生と子供や孫の人生に影響するんです。今すぐ行動するかどうかもたらされる結果は、将来の私や私の世代にはどうすることも出来ません。だから、今年の8月に学校が始まったとき、我慢できなくなって心を決め、スウェーデン議事堂の前で座り込みをしました。気候のために学校ストをしたのです。学校に行くべきだと言う人もいるし、勉強して気候科学者になり「気候危機を解決」したらいいと言う人もいます。でも、気候危機は既に解決されているんです。すべての事実と解決策は既に揃っています。あとは目を覚まして行動を変えさせればいいだけです。将来を守るためのことを誰もしていないのなら、もはや無くなる将来に向けてなぜ勉強すべきだと言えるのでしょうか？そして、教育システムが生んだ最優秀な科学者による最も重要な事実が、政治家や社会にとって明らかに何の意味も持たないのなら、その同じ教育システムで事実を学ぶ意味はあるのでしょうか？スウェーデンはただの小さな国だから、何をしても意味がないという人もいますが、子供が何人か数週間学校に行かないだけで世界中の見出しを飾れるのだとしたら、みんなでその気になって行動したら何ができるか想像してみてください。(拍手) そろそろこのトークも終わりです。普通ならみんなここで希望について語り出します。太陽光パネルだとか風力発電だとか循環経済だとか、私はそうしません。励ましやら明るいアイデアなら30年間かされてきました。残念ですが効果はありません。効果があつたら今頃排出問題は解決しているはずです。でも解決してません。確かに希望は必要です。もちろん必要ですが、希望よりも必要なのは行動です。行動を始めれば希望で溢れます。だから希望を探すのではなく、行動を求めましょう。そうやって初めて希望がわくのです。現在、1億バレルの石油が毎日使われています。これを変える政策はありません。石油を地中に残しておくルールはありません。既存のルールに従っている世界を救えないのです。ルールを変えなければならぬからです。すべてを変える必要があります。そして今日始める必要があるのです。ありがとうございました。

**各地区代表校
活動報告書**

北海道大谷室蘭高等学校 RID2510

2020年4月10日現在

提 唱 R C	室蘭東ロータリー・クラブ	発 会 日	1965年5月7日
例 会 日	毎週火・木曜日	会 員 数	5名 (男1名、女4名)
ホ ー ム ペ ー ジ	https://hokkaido-otani.ed.jp/		
学 校 所 在 地	北海道室蘭市八丁平3丁目1番1号		
電 話 / F A X	0143-44-5641 (代表) / 0143-47-5788 (代表)		

期間2018.7月～2019.6月

事業	月/日	場 所	参加人数	内 容		
				活 動 状 況		
クラブ運営活動	毎週火・木 7月11日 ～12日	学校 学校	全員 全員		校内のペットボトルキャップ・古紙回収 学校祭におけるボランティア活動費のための模擬店出店 (ブラウニ・プリン販売)・活動展示	
	9月19日	室蘭市	幹部		ロータリークラブ例会 (活動報告・台湾研修報告)	
	2月23日	室蘭市	全員		3年生送別会	
	6月15日 ～16日	室蘭市	全員		インターアクト年次大会 (ホスト校)	
	社会奉仕活動	8月18日	室蘭市	有志		清泉幼稚園「清泉まつり」ボランティア
		8月26日	室蘭市	有志		天照教 本部「こづち祭り」ボランティア
9月15日		室蘭市	有志		放課後等デイサービスかざみどり室蘭「縁日ごっこ」ボランティア	
9月22日		登別市	有志		コープさっぽろ食べる大切フェスティバルイベント着ぐるみボランティア (日本工学院専門学校)	
11月3日	伊達市	有志		NEXCO東日本 有珠山サービスエリアひまわりの種採取ボランティア		
6月8日	室蘭市	全員		道道室蘭環状線美化運動 (学校道路沿いの植樹帯の清掃及びコスモスの種まき)		
国際理解活動	8月4日 ～7日	台北	2名		RI2510地区インターアクトクラブ台湾研修	
	5月8日	室蘭市	全員		外国船クウィーン・エリザベス案内ボランティア	



専修大学北上高等学校 RID2520

年 月 日現在

提 唱 R C	北上西ロータリークラブ	発 会 日	
例 会 日		会 員 数	42名 (各クラス2名)
ホ ー ム ペ ー ジ	https://www.senshu-u-kitakami.ed.jp		
学 校 所 在 地	岩手県北上市新穀町二丁目4-64		
電 話 / F A X	0197-63-2341 / 0197-63-7458		

期間2018.7月～2019.6月

活 動 状 況	事業	月/日	場 所	参加 人数	内 容
	ク ラ ブ 運 営 活 動	毎月	校内教室	42名 希望者 〃 〃 〃	年月の目標・活動の反省を行う
		5月			新入生例会
		8月			年次大会・報告会
11月		清掃活動			
3月		卒業生例会			
社 会 奉 仕 活 動	9月	さくらホール 校内	希望者 全員	鬼っジョブ北上おしごとパーク ボランティア	
	12月			赤い羽根共同募金	
国 際 理 解 活 動					



提 唱 R C	福島ロータリークラブ	発 会 日	1972年2月11日
例 会 日	毎週水曜日	会 員 数	36名 (男6名、女30名)
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.toryo.ac.jp/		
学 校 所 在 地	福島県福島市山居上3		
電 話 / F A X	024-535-3316 / 024-535-3329		

期間2018.7月～2019.6月

活 動 状 況	事業	月/日	場 所	参加人数	内 容
	クラブ運営活動	毎月	校内大会議室	全員 全員 全員 全員	活動報告等 『信夫山寄付講座』(福島RC会長 浦部博様) 信夫山フィールドワーク及び報告書・展示物作成 三者合同新世代会議 テーマ「福島の魅力を考えよう」 (福島RC・福島学院大RAC・福島東稜高校IAC)
		11月17日	校内大会議室		
		11～1月 2月2日	信夫山 校内大会議室		
2月24日	福島市 「こむこむ」	全員	『信夫山の魅力展』展示発表(福島RCの支援) (同時共催『信夫山から見る星空スペシャルライブ』) 新年度に向けての準備(年次大会ホスト校として)		
3月～	校内大会議室				
社会奉仕活動	9月	校内各所	全員	募金活動(北海道胆振東部地震) ※生徒会やJRCと協力して実施 猪苗代湖水草除去作業ボランティア参加	
	10月13日	猪苗代湖	希望者		
国際理解活動		1～4月 5～6月 6月16日	校内各所 校内各所 校内大会議室	全員 全員 全員	ラオスへの支援物資回収呼びかけ、箱詰 ラオスへの支援物資発送(那谷寺清水基金さまへ) 『英語力UPセミナー』 (講師: 神田外語大学 柴原智幸先生)



(旧) 秋田和洋女子高等学校

【(現) 秋田令和高等学校 令和2年4月1日より共学化に伴い校名変更】 RID2540

2020年3月31日現在

提 唱 R C	秋田ロータリークラブ	発 会 日	1978年6月24日
例 会 日	毎週木曜日	会 員 数	6名
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.akitawayo-h.ed.jp		
学 校 所 在 地	秋田県秋田市千秋明徳町2番26号		
電 話 / F A X	018-833-1353 / 018-833-1342		

期間2018.7月～2019.6月

事業	月/日	場 所	参加人数	内 容
クラブ運営活動	毎月	校内教室	全員	活動の打ち合わせ等
	6月	校内教室	全員	文化祭準備（活動報告用展示の準備等）
社会奉仕活動	毎月	秋田市	全員	認定こども園でのボランティア活動
	毎月	秋田市	1名	デイサービスセンターでのボランティア活動
	5月	秋田市	全員	あしなが学生募金 街頭募金活動
	10月	秋田市	全員	あしなが学生募金 街頭募金活動
国際理解活動	8月	秋田市	全員	年次大会・指導者講習会 ・米山奨学生の方々との交流 ・ザンビア・ブリッジ企画リーダー 宮地貴士さん（秋田大学4年）による ザンビア⇄秋田市でのWeb講演



提 唱 R C	那覇東ロータリークラブ	発 会 日	1985年6月14日
例 会 日	毎週 月曜日・水曜日	会 員 数	68名（高校1年～3年）
ホ ー ム ペ ー ジ	https://konan-h.ed.jp/		
学 校 所 在 地	沖縄県那覇市古島1-7-1		
電 話 / F A X	098-884-3292		

期間2018.7月～2019.6月

活動状況	事業	月/日	場 所	参加人数	内 容
	クラブ運営活動	原則 毎週 水曜昼休みと 月曜と水曜 の放課後		興南高校 社会科 選択室D	約40名
社会奉仕活動		1. 9 / 16	1～10は	1. 10名	1. 日赤安謝福祉複合施設にて余興ボランティア
		2. 10 / 20・28	すべて	2. 30名	2. 第97回あしなが学生募金（街頭募金）
		3. 11 / 10・11	那覇市。	3. 15名	3. リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018沖縄うらそえ
		4. 11 / 11	11は	4. 15名	4. ドクターヘリ・MESHサポート募金（パレット広場にて）
		5. 11 / 17・18	宜野湾市	5. 15名	5. ドクターヘリ・MESHサポート募金（セルラースタジアムにて）
		6. 12 / 7		6. 10名	6. IAC沖縄分区 第27回国際通りクリーン奉仕活動
		7. 12 / 8		7. 20名	7. 歳末おそうじ隊ボランティア
		8. 12 / 16		8. 10名	8. 年末美化清掃「CGG運動」
		9. 12 / 25		9. 10名	9. ラジオチャリティーミュージックソン募金
		10. 5 / 11・19		10. 30名	10. 第98回あしなが学生募金（街頭募金）
	11. 6 / 16		11. 5名	11. IAC沖縄分区 第27回慰霊の日平和学習クリーン奉仕活動	
国際理解活動	1. 11 / 19	すべて	1. 20名	1. ラオスの学生との校内交流会	
	2. 6 / 3	興南高校 にて実施	2. 30名	2. カナダ人大学生との校内交流会	



小松大谷高等学校 RID2610

2020年 3月23日現在

提 唱 R C	小松東ロータリークラブ	発 会 日	2003年 9月17日
例 会 日	毎週金曜日	会 員 数	23名 (男12名、女11名)
ホ ー ム ペ ー ジ	https://www.komatsu-otani.jp/		
学 校 所 在 地	石川県小松市津波倉町チ 1		
電 話 / F A X	0761-44-2551 / 0761-44-3637		

期間2018.7月～ 2019.6月

活 動 状 況	事業	月/日	場 所	参加 人数	内 容
	クラブ 運営活動	7～11月	市内中学校	26名	教育支援ボランティア「ブラッシュアップゼミ」参加 ロータリークラブ例会参加
		4月	小松市内	幹部	
	社会 奉仕活動	毎週月曜日	本校	全員	意見交換、勉強会など
8月		イオン新小松	16名	24時間テレビチャリティー募金 参加 こまつこどもかるた大会 補助 小松陽光苑「ふれあいぬくもり展」補助	
11月		粟津演舞場	14名		
3月	石川県こまつ芸術劇場うらら	8名			
国際 理解活動	3月	台湾	2名	国際ロータリー第2610地区インターアクトクラブ平成30年度海外研修(台湾)参加	



聖隷クリストファー中・高等学校 RID2620

2020年 3月31日現在

提 唱 R C	浜松北ロータリークラブ	発 会 日	
例 会 日	毎週水曜日	会 員 数	27名 (男7名、女20名)
ホ ー ム ペ ー ジ	https://www.seirei.ed.jp/		
学 校 所 在 地	静岡県浜松市北区三方原町3453番地		
電 話 / F A X	053-436-5313 / 053-438-5699		

期間2018.7月～2019.6月

活動状況	事業	月/日	場 所	参加人数	内 容
	クラブ運営活動		10月 3月 4月 6月	甲府商業高校 校内 校外 グランドホテル浜松	4名 全員 全員 幹部
社会奉仕活動	通年 通年 通年 7月		信生寮 聖隷こども園 校内 日本赤十字	全員 全員 全員 全員	・週1回夕方から障がい者施設に訪問⇒食事介助 ・4～5人ずつ交代で保育ボランティア ・校内でのエコキャップ回収活動 (洗浄・送付) ・文化祭の売上金を日本赤十字社を通じて寄付 (H30 7月豪雨義援金)
	随時 10月		福祉施設 浜松駅前	全員 全員	・夏祭りや秋祭り等、施設イベントでのボランティア ・あしなが学生募金
国際理解活動		8月		全員	・文化祭の売上金をSYD主催の幸せの種こども支援へ寄付 ・SYD主催の文房具寄付へノートの寄付 (文化祭でのゲームの景品の残り)



提 唱 R C	堺清陵ロータリークラブ	発 会 日	2011年 5月26日
例 会 日	月・水・金 16:45～	会 員 数	48名
ホ ー ム ペ ー ジ	https://kenmei.jp		
学 校 所 在 地	大阪府堺市堺区霞ヶ丘町4丁3-30		
電 話 / F A X	072-241-1679 / 072-241-1529		

期間2018.7月～2019.6月

活 動 状 況	事業	月/日	場 所	参加人数	内 容	
	クラブ運営活動	毎月		校内部室	全員	ユネスコ・エコプロジェクトペットボトルキャップ回収清浄作業 リサイクル用使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収 幼稚園課外活動お手伝い 粗食（世界中の困っている子供たちへの募金活動）
		毎月		校内部室	全員	
		毎月		賢明学院幼稚園	全員	
毎月			校内	全員		
社会奉仕活動	12月		釜ヶ崎	希望者	炊き出しボランティア活動	
	国際理解活動	不定期	校内	全員	ボール寄付（活動で使っていたボールを集め、ラオスの学校に送る活動）	
3月		フィリピン	3名	堺清陵ロータリークラブ設立30周年記念事業 （フィリピンの姉妹校を訪問し、姉妹校で粗食のお金を寄付）		



提 唱 R C	京都洛西RC	発 会 日	1996年1月21日
例 会 日	月2回土曜日16時～	会 員 数	35名
ホ ー ム ペ ー ジ	https://www.facebook.com/hanazono.windmusic		
学 校 所 在 地	京都市右京区花園木辻北町1		
電 話 / F A X	075-463-5221 / 075-464-9469		

期間2018.7月～2019.6月

事業	月/日	場 所	参加人数	内 容
活 動 状 況 クラブ運営活動	月2回	校内教室	全員	ロータリー講話 活動報告など
	6月16日	龍谷大学学舎	会長・幹事	第2650地区次年度IAC会長・幹事研修会
	7月	校内教室	全員	ロータリー会長表敬訪問および会長挨拶
	10月		〃	ローターアクト協力による進路相談会
	11月16・17日	花園会館他	〃	第2650地区インターアクト地区大会
	12月20日	ANAホテル	役員5名他	京都洛西ロータリークラブ・クリスマス例会
活 動 状 況 社会奉仕活動	5月11日	妙心寺	全員	御室花まつりパレード・ミニコンサート
	8月28日	洛西花園幼稚園	〃	花園学園生涯学習教室コンサート
	9月14日	長岡京文化会館	〃	洛西花園幼稚園コンサート
	11月24日	そんぼの家	〃	老人ホーム訪問演奏
	12月23日	ライプリーさぬかけ	〃	老人ホーム訪問演奏
活 動 状 況 国際理解活動				



県立氷上高等学校 RID2680

2020年3月1日現在

提 唱 R C	柏原ロータリークラブ	発 会 日	2013年4月1日
例 会 日	毎週水曜日	会 員 数	14名 (男3名、女11名)
ホ ー ム ペ ー ジ	なし		
学 校 所 在 地	兵庫県丹波市春日町黒井77		
電 話 / F A X	0795-74-0104 / 0795-74-0146		

期間2018.7月～2019.6月

活 動 状 況	事業	月/日	場 所	参加 人数	内 容
	ク ラ ブ 運 営 活 動	毎月	校内会議室	全員	各行事準備・年次大会の準備、活動報告など インターアクト年次大会 余島国際青少年リーダーセミナー
		8月	ユニットピアささやま	全員	
		3月	兵庫県余島	2人	
社 会 奉 仕 活 動	6月	氷上特別支援学校	4人	氷上特別支援学校 第41回運動会 演技補助 赤い羽根街頭募金活動 麻薬・覚せい剤乱用防止キャンペーン 小学校アフタースクールボランティア	
	10月	商業施設前	5人		
	11月	商業施設前	4人		
	12月	学童施設	4人		
国 際 理 解 活 動					



提 唱 R C	太宰府ロータリークラブ	発 会 日	1989年7月25日
例 会 日	毎月第2・4月曜日 16:30～	会 員 数	35名
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.chikuyogakuen.ed.jp/		
学 校 所 在 地	福岡県太宰府市朱雀5-6-1		
電 話 / F A X	092-922-7361 / 092-928-3697		

期間2018.7月～2019.6月

活動状況	事業	月/日	場 所	参加人数	内 容					
	活動状況	クラブ運営活動	7/29	福岡市 大丸別荘 校内(教室) 太宰府天満宮 校内(図書館) 太宰府天満宮 福岡市	3名 20名 25名 25名 5名 25名	毎回の例会では、太宰府ロータリークラブ会員各位による卓話に対して、レポートを提出。 インターアクト指導者講習会は台風で中止 インターアクト活動認定状授与式 文化祭 福岡2700地区第4エリア10校合同例会(ホスト校) 卒業生を送る会 太宰府天満宮「曲水の宴に留学生を招く会」に参加 インターアクト全国大会(事例発表)、年次大会				
7月、12月			太宰府駅前 校内				25名 20名 20名	老人保健施設「同朋」入居者へ暑中見舞・年賀状を作成して贈る活動 「日本テレビ 24時間テレビ」街頭募金活動 文化祭で「九州北部豪雨復興支援チャリティーバザー」を開催		
8/25										
10/1										
国際理解活動			7/31 10/22 10/27 6月 6月 6/10				校内	25名 25名	アフリカ・ギニアビサウ共和国の大学生との交流会 (※毎年エンピツを贈っている、ギニアビサウのソナック小学校の卒業生が、御礼のために訪問してくださいました) タイからの留学生歓迎会	
										校内 熊本県小国町
							校内	33名 30名 35名	エコキャップ運動 「ギニアビサウにえんぴつを贈る」活動 フランス・ブラジルからの長期留学生 お別れ会	
										校内
										校内



集合写真



タイ・フランス・ブラジル留学生との交流会



ギニアビサウへ鉛筆を贈る活動



九州北部豪雨復興支援チャリティーバザー

愛知啓成高等学校 RID2760

2020年2月29日現在

提 唱 R C	稲沢ロータリークラブ	発 会 日	2009年5月20日
例 会 日	月2回水曜日+随時	会 員 数	45名（3年15名、2年13名、1年17名）
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.keisei.ed.jp		
学 校 所 在 地	愛知県稲沢市西町一丁目1番41号		
電 話 / F A X	0587-32-5141 / 0587-23-7402		

期間2018.7月～2019.6月

事業	月/日	場 所	参加人数	内 容	
活 動 状 況	クラブ運営活動	7/14	ホテルナゴヤキャッスル	役員	稲沢ロータリークラブ創立55周年記念
		7/16	ウィルあいち	全員	インターアクトクラブ年次大会
		11/2・3	愛知啓成高校教室	全員	インターアクトクラブ活動報告
		11/10	蒲郡市民会館	代表者	青少年フォーラム
		2/9	愛知県青年の家	代表者	インターアクトクラブリーダー研修会
		3/20	国府宮神社・国府宮駅周辺	全員	稲沢RC・愛知啓成IAC合同例会・奉仕活動
	6/16	名古屋学院大学	希望者	学友・青少年交流シンポジウム	
	社会奉仕活動	8/1	稲沢市役所	代表者	稲沢市議会意見交換会
		8/23	国分団地内集会所	希望者	ふれあいサロンたんぼぼの会
		8/25	サリオパーク祖父江	希望者	稲沢夏まつり
		9/16	TGアリーナ	希望者	稲障連スポーツレクリエーション大会
		9/23	リーフウォーク稲沢	希望者	イナザワフード+ふれ愛フェスタ
		10/21	国府宮神社参道	希望者	稲沢イルミネーション事業
		10/27	稲沢市勤労福祉会館等	希望者	福祉まつり
		11/2・3	愛知啓成高校	全員	赤い羽根共同募金
		11/11	榎の木作業所	希望者	かしの木フェスティバル
11/12・17		国府宮駅・国府宮神社参道	希望者	稲沢イルミネーション事業	
11/18		リーフウォーク稲沢	希望者	あそぼうさい・まなぼうさい（水害Ver）	
11/25		彦田公園	希望者	コスモス祭り	
12/18		稲沢市勤労福祉会館	希望者	たのしいクリスマス会（福祉のつどい）	
1/19		稲沢グランドボウル	希望者	障がい者ボウリング大会	
1/20	みんなのCafe	希望者	子ども食堂		
2/11	名古屋文理大学文化フォーラム	希望者	稲沢市社会福祉大会		
3/10	中区北エリア35Km地点	希望者	マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知		
4/21	たんぼぼハウス	希望者	たんぼぼまつり		
5/5	名古屋文理大学文化フォーラム	希望者	新稲沢まつり		
6/9	稲沢市勤労福祉会館	希望者	こどもフェスティバル		
国際理解活動	7/24～8/1	オーストラリア パース	希望者	地区インターアクトクラブ海外派遣研修	
	10/27・28	久屋大通公園	希望者	ワールドフード+ふれ愛フェスタ	
	12/12等 通年	愛知啓成高校 愛知啓成高校	全員 全員	世界における諸問題・解決策について発表 稲沢RCと合同エコキャップ活動	



千葉県立千葉商業高等学校 RID2790

2020年3月18日現在

提 唱 R C	千葉西ロータリークラブ	発 会 日	
例 会 日	毎週火曜日 昼	会 員 数	57名 (男20名、女37名)
ホ ー ム ペ ー ジ	https://cms1.chiba-c.ed.jp/chiba-ch/		
学 校 所 在 地	千葉県千葉市中央区松波2-22-48		
電 話 / F A X	043-251-6335 / 043-255-8580		

期間2018.7月～2019.6月

活 動 状 況	事業	月/日	場 所	参加人数	内 容
	クラブ運営活動	4, 6, 9, 11, 1月 5月15日 6月15日	校内教室 聖徳大学付属女子高等学校 校内体育館	全員 2人 20人	活動計画、活動報告 インタラクティブ指導者講習会 第9回チャリティーコンサート&つながる会参加 東日本大震災パネル展示 募金活動 インタラクティブ年次大会ホスト校
		8月6日	千葉スカイウインドウズ 東天紅	31人	
		8月22,23日 9月28日	校内 校内	10人 全員	体験入学運営補助 文化祭オーリーブハウス販売補助 募金活動 (赤い羽根共同募金、令和元年台風第15号災害義援金)
2月9日		アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張	6人	国際ロータリー第2790地区 青少年の集い参加	
5月11日 12月12日		JR稲毛駅東口 JR千葉駅前	10人 24人	稲毛駅前ふれあい花壇草花植替え作業 歳末助け合い千葉駅前街頭募金	
国際理解活動	11月8日 ～11月11日	台湾 台北市	3人	第32回インタラクティブ国際研修参加	



提 唱 R C	水戸ロータリークラブ	発 会 日	1968年5月1日
例 会 日	毎週水曜日	会 員 数	105名 (男49名、女56名)
ホ ー ム ペ ー ジ	https://suijo.ac.jp/		
学 校 所 在 地	茨城県水戸市白梅2-1-45		
電 話 / F A X	029-247-6509 / 029-248-7252		

期間2018.7月～2019.6月

事業	月/日	場 所	参加人数	内 容	
クラブ運営活動	毎週火曜日 毎週水曜日	校内教室 水城ホール	幹部 全員	幹部会 例会 (活動予定確認、活動報告、ロータリアン講話等)	
	8月	常陽銀行本店	幹部	水戸ロータリークラブ例会参加	
	9月	水城ホール	全員	夏休み活動報告会	
	3月	水城ホール	全員	卒業生送別会・表彰式	
社会奉仕活動	7月 8月	ナーシングホームかたくり 茨城県民の森・那珂市中央公民館 障害者支援施設たまりメリーホーム フロイデ総合在宅サポート センター水戸河和田	希望者 希望者 希望者 希望者	ナーシングホームかたくり納涼祭ボランティア いばらき新選組 草刈りボランティア メリー祭ボランティア 地域ふれあい祭りボランティア	
	9月 10月・5月	早川ぶどう園 水戸駅	希望者 全員	第53回ふれあいデーボランティア 第97・98回あしなが学生募金	
	10月 11月・6月	茨城県総合福祉会館 南部老人福祉センターふれしあ 愛パーク河和田 ケアハウスみと	全員 希望者 希望者	グリーンリボンシンポジウム みとヨンカフェ 第30回愛パーク祭	
	11月	ケアハウスみと 千波湖周辺 かたくりの郷	希望者 希望者 希望者	ケアハウスみと秋祭りボランティア 花いっぱい運動及びクリーン作戦 かたくりの郷フェスティバル	
	6月	偕楽園公園四季の原広場 千波湖周辺	全員 希望者	水戸のラーメンまつり4ボランティア 千波湖ビオトープづくりボランティア	
	国際理解活動	7月 8月	三の丸ホテル 台湾 水戸女子高等学校	幹部 希望者 幹部・希望者	青少年奉仕研究会 インターアクト台湾研修旅行 国際ロータリー第2820地区第22回インターアクト年次大会主催
		10月	茨城県立児童センターこどもの城 セミナーホール	希望者 幹部・希望者	ライラセミナー 次年度台湾研修・タイ短期交換派遣生歓迎懇親会企画会議
		11月	セミナーホール	全員	ライラセミナー活動報告・グループワーク タイ長期交換派遣プログラム経験者による講演会 (Rotexより)
		12月 1月	タイ セミナーホール	希望者 全員	タイ短期交換派遣プログラム 卒業生による講演会 (留学・シリア難民支援・国連プロジェクト参加等)
		4月	茨城・東京 セミナーホール ザ・ヒロサワ・シティ会館	希望者 希望者 希望者	タイ王国短期交換生来日プログラム 高校生親善大使 タイ短期交換派遣生歓迎懇親会 国際ロータリー第2820地区 2018-2019年度 地区大会
5月		ホテル・テラス・ザ・スク エアひたち	希望者	国際ロータリー第2820地区 2018-2019年度 ロー ターアクト地区大会	



インターアクト年次大会



タイ短期交換派遣生歓迎懇親会



インターアクト台湾研修旅行

青森県立田名部高等学校 RID2830

2020年4月20日現在

提 唱 R C	田名部高校インターアクトクラブ	発 会 日	2003年10月24日
例 会 日	毎週木曜日	会 員 数	6名(現在)
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.tanabu-h.asn.ed.jp/		
学 校 所 在 地	青森県むつ市海老川町6-18		
電 話 / F A X	0175-22-1184 / 0175-23-7233		

期間2018.7月～2019.6月

活 動 状 況	事業	月/日	場 所	参加 人数	内 容	
	ク ラ ブ 運 営 活 動	7月		八戸市	13名	インターアクト年次大会
		9月		岩手県宮古市	全員	地区研修旅行 宮古市田老町訪問
				弘前市	3名	ロータリークラブ年次大会
10月			青森中央高校	全員	青森県高校総合文化祭	
5月			校内	全員	三年生送別会	
	6月		むつプラザホテル	10名	田老町訪問報告会	
社 会 奉 仕 活 動	7月		校内	全員	文化祭での募金活動	
	8月		むつ市	希望者	24時間テレビチャリティー募金	
	10月		むつ市	希望者	しもきたマルシェ補助	
	4月		横浜町	希望者	横浜町海岸清掃	
国 際 理 解 活 動		6月	むつ市	全員	国際ボランティア学習	



太田市立太田高等学校 RID2840

2020年3月18日現在

提 唱 R C	太田ロータリークラブ	発 会 日	1963年11月23日
例 会 日	毎週金曜日	会 員 数	23名 (男5名、女18名)
ホ ー ム ペ ー ジ	https://www.otacity-hs.com/		t-ootsuka@otacity-hs.ed.jp
学 校 所 在 地	群馬県太田市細谷町1510番地		
電 話 / F A X	0276-31-3321 / 0276-32-3004		

期間2018.7月～2019.6月

活動状況	事業	月/日	場 所	参加人数	内 容
	クラブ運営活動	毎週	7/7	理科準備室	14名
		7/7	校外	2名	IAC合同会議
		7/14	校内	全員	花いっぱい運動 (花壇作成)
		7/21	校外	全員	IAC年次大会
		6/25	校内	全員	太田ロータリークラブ公式訪問会
		10/7	校外	3名	RC地区大会
		1/22	校内	全員	校内募金活動 (歳末助け合い)
		3/25	校内	全員	使用済みコンタクトケース回収活動
		3/25	校内	全員	絵本を届ける活動
		3/25	校内	全員	支援物資を世界に届ける活動
社会奉仕活動	毎月	第1土曜日	校外	3～4名	障害者乗馬体験補助ボランティア
		7/2	校外	4名	特別支援学校との交流会
		7/14	校外	4名	特別養護老人ホームでのボランティア
		8/15	校外	4名	尾島ねぶた祭りのボランティア
		10/27、28	校外	全員	太田スポーツレクリエーションでのボランティア
		10/28	校外	有志	美術館でのスタッフボランティア
		6/1	校外	3名	障害者支援施設でのボランティア
国際理解活動		5/10	校外	5人	台湾留学生歓迎セレモニー



**2 8 0 0 地区
活 動 報 告 書**

提 唱 R C	鶴岡ロータリークラブ	発 会 日	1992年4月
例 会 日	毎週月曜日	会 員 数	61名 (男23名、女38名)
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.tsuruokahigashi.ac.jp		
学 校 所 在 地	山形県鶴岡市切添町22番30号		
電 話 / F A X	0235-22-0223 / 0235-25-6150		

期間2018.7月～2019.6月

活 動 状 況	事業	月/日	場 所	参加 人数	内 容		
	クラブ 運営活動	毎月		校内教室	全員	活動に関して連絡及び報告	
		6月		羽黒高等学校	代表数名	第2800地区インターアクトクラブ年次大会	
		8月		東京都 東京第一ホテル鶴岡	代表2名	第2800地区インターアクトクラブ地区外研修	
10月			酒田市民会館	代表数名	鶴岡ロータリークラブだだちゃ豆家族例会		
12月			東京第一ホテル鶴岡	代表数名	国際ロータリークラブ第2800地区 地区大会参加		
4月			東京第一ホテル鶴岡	代表数名	鶴岡ロータリークラブクリスマス家族例会		
5月			本校小会議室	会長	第2800地区鶴岡国際ロータリークラブ60周年記念式典参加		
社会 奉仕活動	6月		米沢市伝国の杜	代表数名	鶴岡ロータリークラブ、ローターアクトクラブよりペット ボトルキャップ進呈 第2800地区インターアクトクラブ年次大会		
	9月		鶴岡市中央公民館	希望者	鶴岡市敬老の集いボランティア		
			鶴岡市杉の子公園	希望者	第5学区福祉体育レク大会ボランティア		
			由良香ヶ浜	希望者	鶴岡ロータリークラブ主催海岸清掃ボランティア		
			小学校体育館	希望者	鶴岡市身体障がい者スポーツ大会ボランティア		
			鶴岡市運動公園	希望者	鶴岡市児童館ボランティア		
10月		鶴岡市文化会館	希望者	鶴岡市敬老のつどい			
国際 理解活動	11月		コミュニティ防災センター	希望者	鶴岡養護学校居住地区交流活動ボランティア		
	5月		中央児童館、その他	希望者	鶴岡市子どもまつりボランティア		
	国際 理解活動	6月			出羽庄内国際村	希望者	ワールドバザールボランティア



提 唱 R C	鶴岡西ロータリークラブ	発 会 日	
例 会 日	毎週金曜日	会 員 数	46名 (男子7名、女子39名)
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.tsuruokachuo-h.ed.jp		
学 校 所 在 地	山形県鶴岡市大宝寺字日本国410		
電 話 / F A X	0235-25-5724 / 0235-25-5734		

期間2018.7月～2019.6月

活 動 状 況	事業	月/日	場 所	参加人数	内 容
	クラブ運営活動	毎月1回	校内	1・2年 全員	暁光児童館の職員と交流、 子どもたちへのプレゼント用小物制作
		4月	〃	〃	ちらしちぎり (子どもまつりで使用)
		5月 5月～12月	〃 〃	〃 〃	ボランティア活動の心構え (ボランティアセンターより講話) 手話教室
社会奉仕活動	4月	温海	2・3年 全員	あつみさくらマラソンボランティア	
	5月	暁光児童館	11名	暁光児童館環境整備ボランティア	
	6月	鶴岡中央児童館	8名	鶴岡市子どもまつりボランティア	
	7月～11月	銀座通り ゆうあいプラザかたぐるま 各施設	延べ 50名	ぎんざパン祭りボランティア 各施設夏祭り～秋祭り等ボランティア (暁光児童館・西部児童館を含む)	
	10月 1月	小真木原体育館 ゆうあいプラザかたぐるま 銀座通り	7名 5名 8名	ふれあいピックつるおか2019 ノーマライゼーション親善交流卓球大会 ぎんざ寒鰯祭りボランティア	
国際理解活動					



ノーマライゼーション親善卓球大会



ボランティアセンター長の講話

暁光児童館 環境整備ボランティア

提 唱 R C	鶴岡東ロータリークラブ	発 会 日	平成5年2月27日
例 会 日	毎週水曜日	会 員 数	8名
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.haguroko.ed.jp/ (学校ホームページ)		
学 校 所 在 地	山形県鶴岡市羽黒町手向字薬師沢198		
電 話 / F A X	0235-62-2105 / 0235-62-2193		

期間2018.7月～2019.6月

活 動 状 況	事業	月/日	場 所	参加 人数	内 容
	クラブ 運営活動	8月25日	校内	3名	学園祭での活動発表
		10月21日	希望ホール	3名	ロータリー地区大会参加 (代表発表)
		10月24日	鶴岡市内	3名	ロータリークラブ例会参加
6月7日		米沢市内	10名	インターアクト年次大会	
社会 奉仕活動	7月1日	鶴岡市内	10名	内川清掃活動 (スポンサークラブとの共同作業)	
	7月27日	タクト鶴岡	4名	山形県身体障害者福祉大会運営補助	
	9月17日	タクト鶴岡	4名	鶴岡市敬老のつどい運営補助	
	10月16日	鶴岡市内	7名	赤い羽根共同募金街頭募金活動	
	10月20日	市内羽黒	7名	鶴岡市銀座商店街鍋祭りボランティア	
	10月21日	羽黒山	8名	羽黒山石段マラソン給水ボランティア	
国際 理解活動	8月6日 ～8日	東京	3名	インターアクト地区外研修 (ベトナム大使館訪問等)	
	8月30日 ～9月2日	フィリピン	7名	フィリピン研修 (農園での生活体験、太平洋戦争の現地学習)	



提 唱 R C	天童ロータリークラブ	発 会 日	1984年
例 会 日	毎週水曜日	会 員 数	45名
ホ ー ム ペ ー ジ	https://sogaku.ed.jp/		
学 校 所 在 地	山形県天童市清池東2-10-1		
電 話 / F A X	023-655-2328 / 023-655-2322		

期間2018.7月～2019.6月

活 動 状 況	事業	月/日	場 所	参加 人数	内 容
	ク ラ ブ 運 営 活 動	7/24	校内	16名	年に三回、校内に置くプランターの植え込みを行って緑化活動をしている。
		毎週水曜	校内	全員	毎週水曜の放課後に例会を行っている。今後の予定の確認や、活動案を話し合っている。
	社 会 奉 仕 活 動	8/28	校内	11名	本校において献血の重要性を知るため、献血セミナーを開講し、後に全校生徒への献血の協力への呼びかけ、進行の手伝いをした。
		7/6	介護老人保健施設「あこがれ」		施設内の清掃活動や送迎車・バスの清掃活動を行った。
国 際 理 解 活 動	8月	東京	3名	地区外研修へ参加し、国際理解と共に、他校のインターアクターとの交流を図る。	



提 唱 R C	山形ロータリークラブ	発 会 日	1978年
例 会 日	毎月 第一水曜日付近	会 員 数	20名 (男3名、女17名)
ホ ー ム ペ ー ジ	https://www.yamamotogakuen-h.ed.jp		
学 校 所 在 地	山形県山形市城西町三丁目13-7		
電 話 / F A X	023-643-0323 / 023-643-2974		

期間2018.7月～2019.6月

事業	月/日	場 所	参加人数	内 容	
					活 動 状 況
クラブ運営活動	毎月	校内会議室	全員	活動予定・活動報告など	
	12月		代表者	ロータリークラブ例会参加 (活動報告)	
	2月	校内教室	全員	卒業生送別会	
	5月	校内教室	全員	手話コーラス講習会	
	6月	米沢市	14人	第2800地区インターアクト年次大会	
	社会奉仕活動	通年	校内	全員	ペットボトルキャップ回収 (ポリオ撲滅運動)
		4月～11月	校庭	全員	草取り
		7月	寒河江市	7人	共に生きるコンサートスタッフ
		7月	山形市	14人	スポーツゴミ拾い
		8月	城西地区	20人	山形市城西1区・3区盆踊り大会準備
		8月	岩手県	4人	東日本大震災被災地支援活動 (海岸清掃)
		9月	山形市	全員	日本一芋煮会芋掘り・当日ボランティア
		9月	校内教室	全員	学園祭バザー (授産施設者制作のお菓子小物等)
		10月4月	山形駅	30人	あしなが募金
11月		山形市	10人	霞城公園内旧済生館跡地早朝清掃 (スポンサークラブ主催)	
1月		山形市	11人	山形市成人式お手伝い	
1月		城西地区	2人	かけはしの会交流会	
6月	山形市	8人	特別養護老人ホーム「みこころ」祭り		
国際理解活動	8月	東京	2名	第2800地区インターアクト地区外研修 ベトナム大使館・東京医科歯科大学ほか	
	4月	校内	全員	リサイクルズックをタイへ送る	
	5月	校内調理室	13名	モンゴル語学研修生との交流会	



山形県立南陽高等学校 RID2800

2019年6月30日現在

提 唱 R C	南陽ロータリークラブ・南陽東ロータリークラブ	発 会 日	2002年2月
例 会 日	毎週木曜日	会 員 数	39名 (男8名、女31名)
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.ygt-nanyo-h.ed.jp/		
学 校 所 在 地	山形県南陽市宮内4600		
電 話 / F A X	0238-47-7401 / 0238-47-7445		

期間2018.7月～2019.6月

活動状況	事業	月/日	場 所	参加人数	内 容
	活 動 状 況	クラブ運営活動	8月	関東方面 校内教室	2人 全員
10月			ロータリークラブ例会場	2人	インターアクト地区外研修報告会
6月			酒田市 伝国の杜	10人 10人	国際ロータリー 2800地区 地区大会 インターアクト年次大会
社会奉仕活動		7,8月	高齢者福祉施設	希望者	南陽市内高齢者福祉施設夏祭り運営補助
		8月	南陽市内各所	希望者	24時間テレビチャリティー募金
		9月	南陽市十分一山 赤湯地区	希望者 希望者	十分一山耕作放棄地対策プロジェクトラベンダー植栽 赤湯神輿渡御参加
		10月	南陽市内各所 南陽市花公園	希望者 希望者	赤い羽根共同募金、盲導犬ふれあい募金 南陽さわやかマラソン運営補助 南陽菊まつり運営補助
		2月	南陽市内各所	全員	南陽雪灯りまつりのためのキャンドル作製、設置
		4月	赤湯駅西広場	全員	ゴミ拾い (南陽東ロータリークラブと合同)
		5月	吉野森林交流センター	希望者	大森林祭運営補助
国際理解活動	毎週	校内	全員	ペットボトルキャップ回収 (ポリオワクチン寄付のため)	



九里学園高等学校 RID2800

2020年7月1日現在

提 唱 R C	米沢ロータリークラブ・米沢上杉ロータリークラブ	発 会 日	
例 会 日	金曜日	会 員 数	435名
ホ ー ム ペ ー ジ	http://kunori-h.ed.jp/blog/		
学 校 所 在 地	山形県米沢市門東町1丁目1-72		
電 話 / F A X	0238-22-0091 / 0238-22-0092		

期間2018.7月～2019.6月

活 動 状 況	事業	月/日	場 所	参加人数	内 容
	クラブ運営活動	7月～6月	九里学園高校	全員	ペットボトルのキャップ回収
		7月～6月	九里学園高校 付属幼稚園	10名	幼稚園訪問、園児との交流
		7月～6月	九里学園高校	全員	クラブミーディング（例会）
社会奉仕活動	5月	米沢市	7	親子緑陰学級ボランティア	
	5月	九里学園高校	全員	九州豪雨被害の募金活動（日本赤十字社へ）	
	8月	上杉御廟所	5	米沢上杉ロータリークラブ早朝例会・清掃活動	
	8月	米沢栄光の里	15	施設盆踊り夏祭りのボランティア補助・介助	
	8月	ピュアフォレスト	10	施設夏祭りのボランティア	
	12月	ヨークベニマル	8	歳末助け合い募金活動	
国際理解活動	6月	九里学園高校	全員	台湾訪日団（30人）受け入れ、交流会	
	8月	東京都	2人	トルコ大使館、見学	
	10月	九里学園高校	全員	海外で活躍する写真家たかのてるこ講演会	





インターアクトの歌

作詞・作曲 東京西R.C 藤山一郎

ここに集いし われらは
誇りも高し インターアクト
地域社会に奉仕の理想
示せ いまこそ そのまこと
ほほえみをもて さしのべよ 手を
世界を結ぼう インターアクト われら



インターアクトの目的とは、奉仕と国際間の理解に貢献するため世界的親交を以て共に活動する機会を青年男女に与えることにある。

「八つの目標」

◆◆◆◆◆インターアクトの目標は次の通りである◆◆◆◆◆

1. 建設的な指導力を養成し、自己の完成を計ること。
2. 他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えとを奨励し、これを実践すること。
3. 家庭と家族の重要性に対する認識を涵養すること。
4. 個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養うこと。
5. 個人的成功のためにも、地域社会の改善のためにも、更には団体としての業績を挙げるためにも、各人が責任を負うことがその基本であることを強調すること。
6. すべての有用な職業は社会に奉仕する道であるとして、その品位と価値を認識すること。
7. 地域社会、国家および世界の問題についての知識と理解を深める道を提供すること。
8. 国際理解として全人類に対する善意を推進するために、個人としてまた団体として進むべき道を切り開くこと。

(インターアクト定款より)